

# 前学期の遠隔授業等に関する アンケート調査（教員調査） 結果報告【ダイジェスト版】



熊本大学  
大学教育統括管理運営機構

本報告書に掲載されているテキスト、図表などの情報に関する著作権は、熊本大学に帰属します。  
法律により認められる場合を除き、これらを本学に無断で使用・複製等を行うことはできません。

# 1. 調査の概要

## □ 目的

- 前学期の授業実施から定期試験及び成績評価に至る一連の活動を通じ、授業運営の状況を把握し、今後の遠隔授業等を実施する上での授業設計、環境整備、サポート体制及びFD活動の見直し並びにアフターコロナ下での遠隔授業等の在り方の検討に役立てることを目的として調査を実施しました。

## □ 調査の対象者

- 2020年前学期の授業担当教員（非常勤講師を含む。）

## □ 調査の方法

- Moodle（本学の学習管理システム）のアンケート機能によるWeb調査

## □ 調査実施期間

- 2020年11月9日（月）～12月28日（月）

## □ 回答状況

- 回答数は338件で、学問系統別及び職階別の回答数については右表のとおり。

### ● 学問系統別

学問系統	回答数	割合
文学系	33	9.8%
教育学系	52	15.4%
法学系	24	6.8%
理学系	50	14.8%
医学系	33	9.8%
保健学系	21	6.2%
薬学系	24	6.8%
工学系	68	20.1%
その他	33	10.4%

※その他：学問系統＝学内共同教育研究施設など

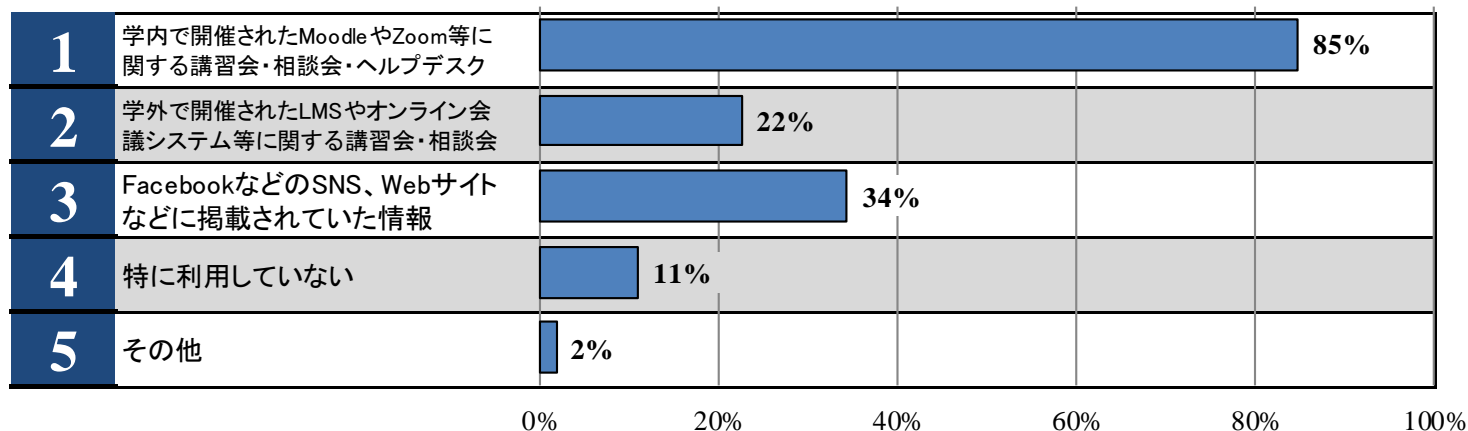
### ● 職階別

職階	回答数	割合
教授	142	42.0%
准教授	153	39.1%
講師	11	3.3%
助教	31	9.2%
その他	21	6.5%

※その他：職階＝特任教員、非常勤講師など

## 2. 遠隔授業準備に利用した支援

Q3. 前学期に実施した遠隔授業を準備する際に、どのような e ラーニングサポートを利用しましたか。  
【複数選択可】

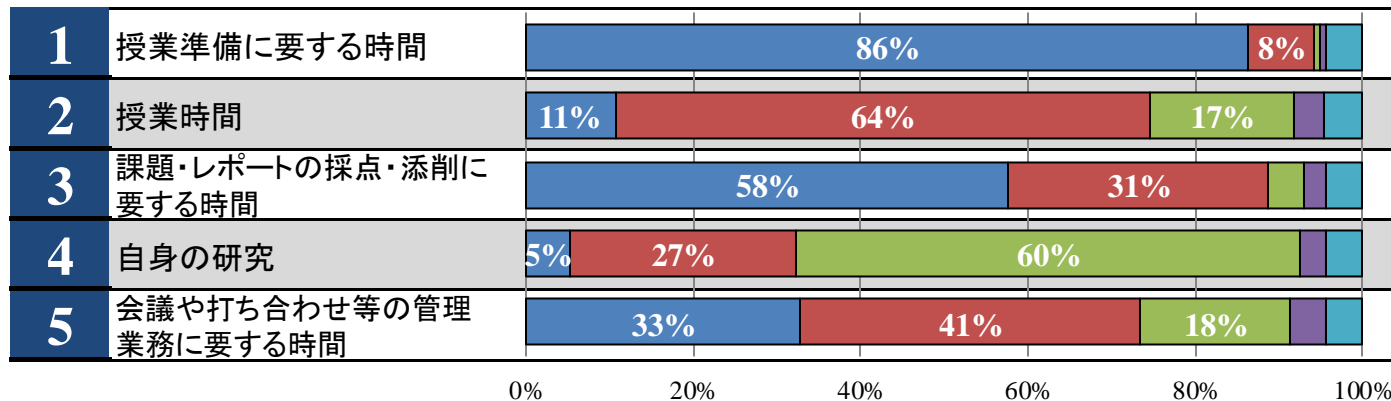
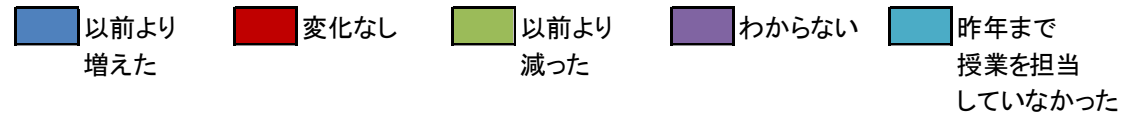


- 遠隔授業の準備として、学内開催の講習会・相談会・ヘルプデスクの利用経験者は8割を超えています。



# 3. 教育・研究・校務時間の変化

Q4. 前学期の授業期間中と昨年度（コロナ禍以前）を比較した場合、次の活動に費やす時間に変化はありましたか。

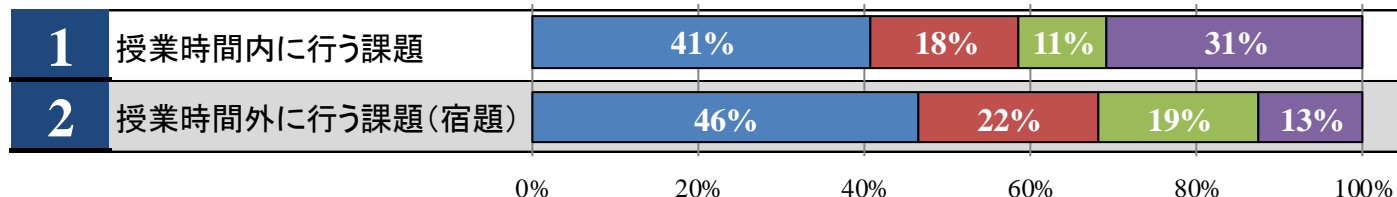


- 8割以上の教員は授業準備時間がコロナ禍以前よりも増加していました。
- さらに、6割近い教員は課題・レポートの採点・添削に要する時間がコロナ禍以前よりも増加していました。

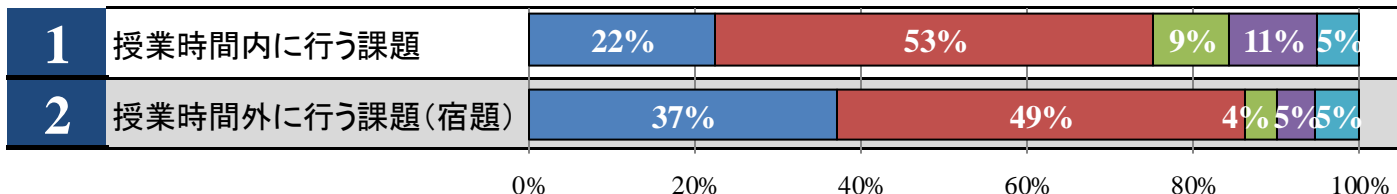
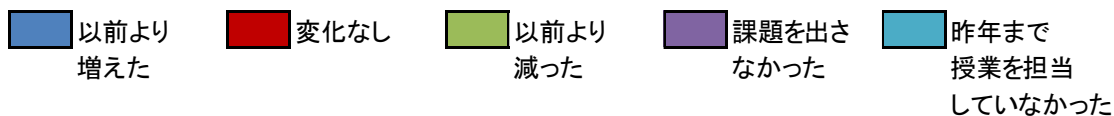


# 4. 授業課題について

Q5. 前学期に実施した遠隔授業では、1コマあたりの授業で課題の提出をどのくらいの頻度で求めましたか。授業によって課題の頻度が異なる場合は、ご自身が担当された授業全体で見たときの傾向でご回答ください。



Q6. 前学期に実施した遠隔授業では、昨年度（コロナ禍以前）と比較して、1コマあたりの授業で課題を課す頻度に変化はありましたか。授業によって課題の頻度が異なる場合は、ご自身が担当された授業全体で見たときの傾向でご回答ください。



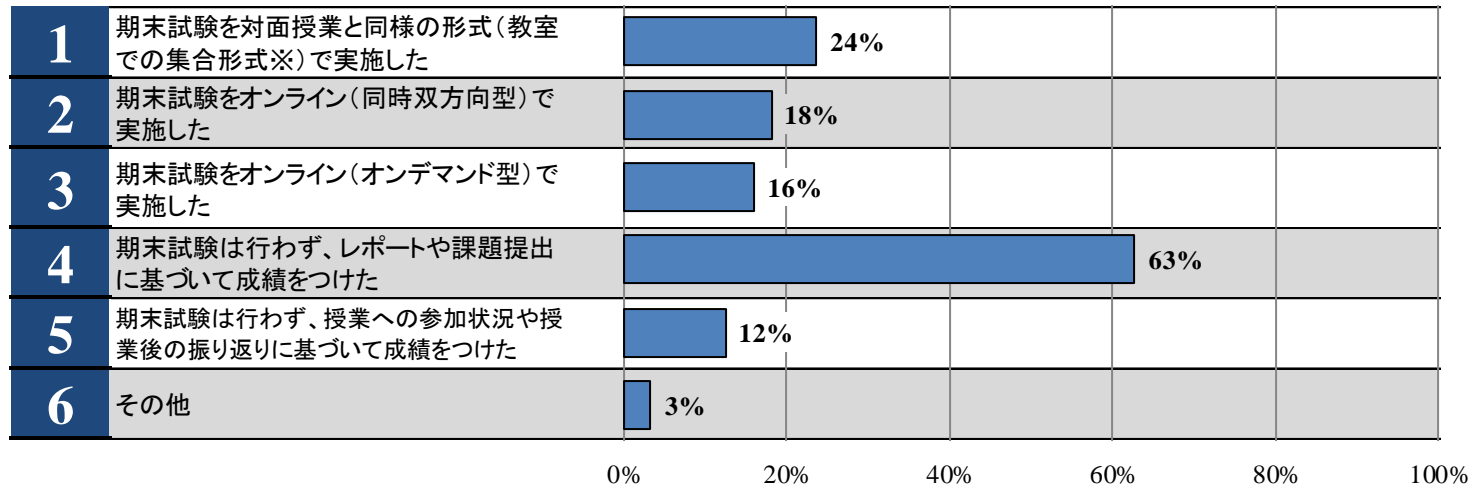
※課題には理解度確認クイズを含みます。

- 半数近い教員は「概ね毎回」授業時間外に行う課題（宿題）を課していました。
- 約4割の教員は授業時間外に行う課題の頻度をコロナ禍以前よりも増加させていました。



# 5. 期末試験・成績評価の方法

Q10. 前学期の期末試験および成績評価はどのような方法で行いましたか。【複数回答】



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底したうえで、集合形式で試験を実施しました。

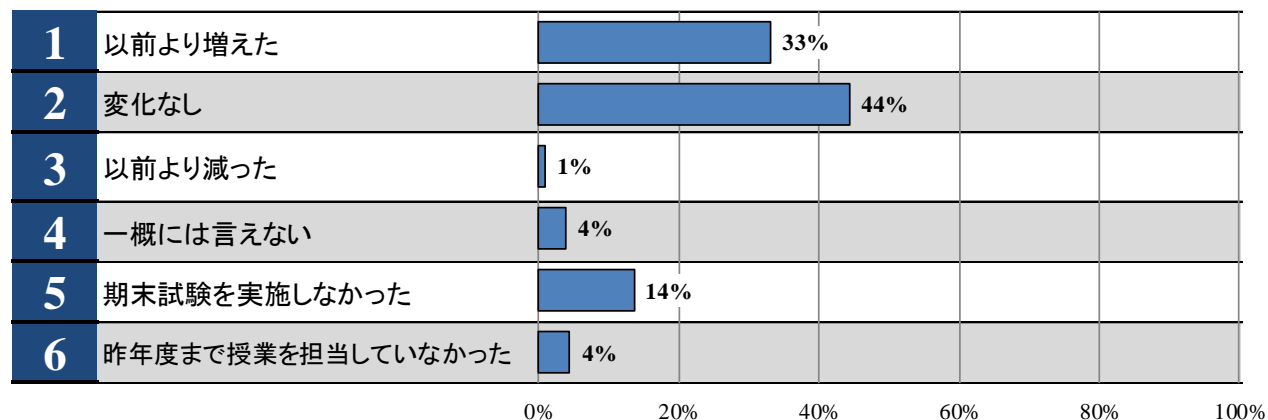
- 2020年度前学期に、対面授業と同様の形式(教室での集合形式)で試験を実施した経験があると回答した教員は1/4ほどでした。



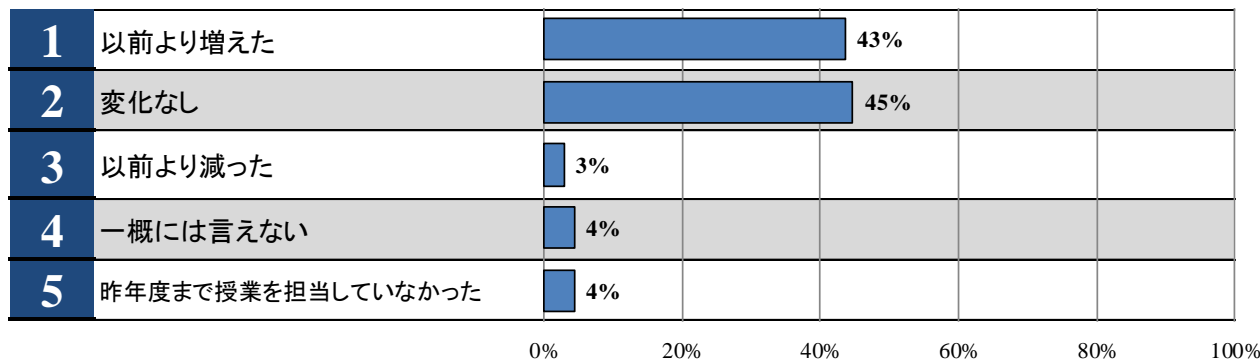
# 6. 期末試験準備・成績評価に費やす時間の変化

Q11. 前学期と昨年度（コロナ禍以前）を比較して、期末試験の準備や成績評価に費やす時間に変化はありましたか。

## (1) 期末試験の準備に費やす時間



## (2) 成績評価に費やす時間

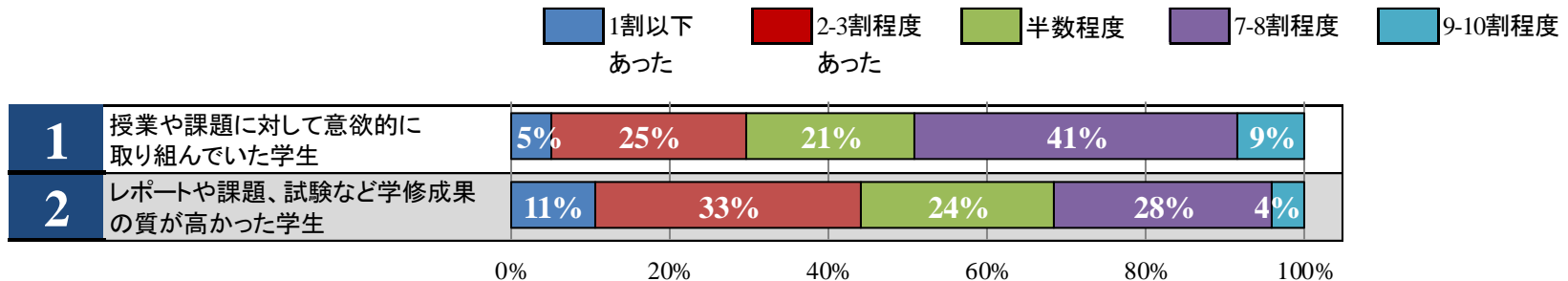


- 試験準備にかかる時間はコロナ禍以前と比べて3割以上の教員で増加し、成績評価にかかる時間は4割以上の教員で増加していました。

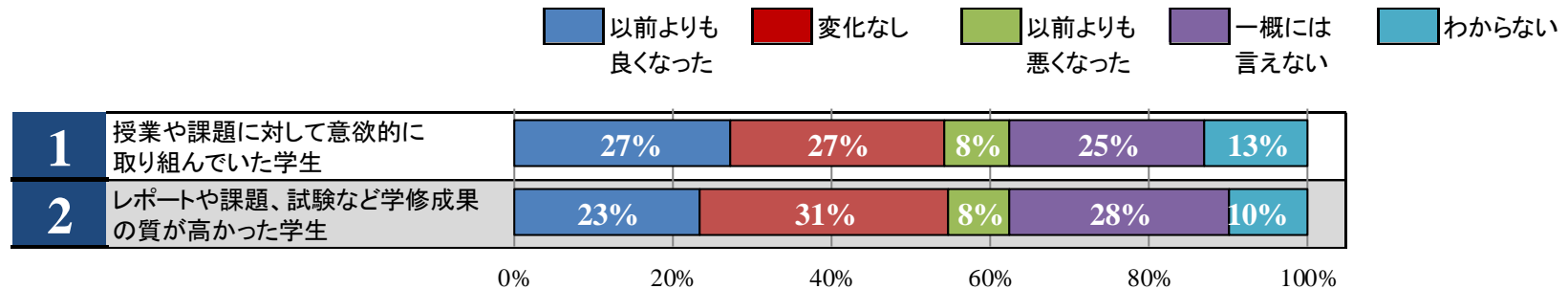


# 7. 遠隔授業における学修成果

Q13. 前学期に遠隔授業を実施した結果、授業や課題に対して意欲的に取り組んでいた学生やレポートや課題、試験など学修成果の質が高かった学生はどのくらいいましたか。



Q14. 昨年度（コロナ禍以前）と比較して、学生の授業や課題に対する取組・姿勢や学修成果に変化はありましたか。



- 2割以上の教員は、学生が遠隔授業においても多くの授業や課題に意欲的に取り組み、コロナ禍以前よりも学修成果の質が向上していると評価していました。





発行日：2021年4月

発行：大学教育統括管理運営機構

グラフ作成及びコメント：菅澤 貴之（評価分析室 准教授）